

坂下だより

賀正

令和七年 年頭のご挨拶

隔月25日発行
 発行者 日立市坂下地区
 コミュニティ推進会
 編集者 調査広報部
 TEL 52-3155
 FAX 53-9122
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitachi-minami/>



令和七年 元旦
 坂下地区「コミュニティ推進会」役員一同
 (写真提供 日立写真会)

皆様、明けましておめでとうござ
 います。
 ご家族そろって穏やかに令和7年
 の新春を迎えられましたことと心か
 らお喜びを申し上げます。

皆様には日頃より、当コミュニ
 ティ推進会の事業、運営に関し温か
 いご支援ご協力を頂いていますこと
 に深く感謝申し上げます。

昨年をふりかえりますと、私達を
 取り巻く、国内外の状況は、1月1
 日、能登半島を襲った震度7の地震
 からはじまり、能登を再び襲った集
 中豪雨災害。そして、夏から秋にか
 けた世界的な温暖化による災害に加
 え野菜の栽培にも大きな被害を及ぼ
 し、さらに、物価高が追い打ちをか
 けました。

今年はいこれらの問題が出来るだけ
 なくなつて欲しいと願うばかりです。
 一方、坂下地区コミュニティ推進
 会におきましては、前年に引き続き
 地域の活性化を取り戻すべく、地域
 のふれあい、繋がりを大切に事業を
 進めて参りました。

そして、特に11月30日に開催しま
 した「ふるさと坂下元気まつり」は
 地域の保育園、幼稚園、各小中学校

ボランティア団体、そして各地域支
 部の皆さんにも、協力を頂き皆でつ
 くり楽しむ祭りとして進めました。
 当日は沢山の皆さんのご来場を頂
 き大盛況に終えることができました。
 これらを含め、昨年度の事業はほ予
 定通り進められました。皆様のご支
 援ご協力を改めまして、厚くお礼を
 申し上げます。

今年度は、さらに、皆様に喜ばれ
 るよう、事業を進めてまいります。
 各地域、町内の皆様におかれま
 しても、少子化高齢化で大変ですが
 皆様が希望をもって楽しく暮せるよ
 う、ふれあい、繋がりを維持続け
 いただきたいと思えます。ご協力の
 程よろしく願います。

最後に、坂下地区コミュニ
 ティ推進会の益々の繁栄と、皆様ご家族
 共々健康で実りの多い、飛躍の一年
 になることを祈念申し上げご挨拶と
 いたします。

1月11日(土)に開催された賀詞
 交歓会は令和元年以来、5年ぶりに
 参加者をコロナ以前の規模まで戻し
 て開催されました。

当日は来賓に日立市市議会議員の
 白石敦様、岡部真二様、磯野敦様の
 ご参加を頂き、総勢53名の皆さんが
 参加されました。アトラクションで
 は、当交流センターで日頃から活動
 をされている「箏曲クラブ」の皆さ
 んによる箏曲のご披露がありました。
 穏やかな日和の中、楽しいひと時
 を過ごしました。



第3回ふるさと坂下元気まつり 地域の皆さんと元気に開催

ふるさと坂下元気まつり実行委員会

今回で3回目となる「ふるさと坂下元気まつり」が11月30日(土)に晴天の下、盛大に開催されました。今回は、アトラクションに地域の保育園、幼稚園、小学校、中学校をすべてご招待し、ステージで素晴らしい発表を見せていただきました。

また、令和元年を最後に開催を合わせていた敬老会を、米寿の方々に限ったことでしたが、ミニ敬老会として実施することができました。

地域のお子さんを対象に遊びのコーナーを設け、絵手紙や竹とんぼの体験も行いました。そのほか、バザーや茂宮カボチャ、菜の花畑、みなみ号そしてアボカド栽培などの展示ブースやお子さんの作品展示など、盛りだくさんの企画に、たくさんの方々が来場してくださいました。

最後の大抽選会では大いに盛り上がりました。

そして、このまつりを地域の支部長さんをはじめ、たくさんの方々が支えてくださいました。最後となりますが、この場をお借りしてお礼を申し上げます。次回はさらに楽しいおまつりを開催したいと思います。ご支援ご協力をお願いいたします。なお、午前に行われましたバザーでは71,333円の売り上げがありました。ご協力ありがとうございました。

午前のスナップ



午後のスナップ



そして、
沢山の笑顔



日立の魅力再発見ウォーク 「久慈川が海と交わる場所」

その今昔を歩く

生涯学習事業担当

令和6年の生涯学習事業主催行事を締めくくった「日立の魅力再発見ウォーク」を11月13日(水)実施しました。朝から青空が広がり最高のお天気で、参加者には坂下地区はもちろん、遠くは下深萩町からの方もいらつしやり、総勢34名で出発しました。

久慈川の河口にある「津神社」(「久慈城址」では、久慈地区にお住いの方に案内をしていただきました。そこから国道245号を渡って、東京ガスLNG基地までの道のりが思っていた以上に長くだんだん疲れが見えてきましたが、皆さんとついで今日一番の目的地なので頑張って歩きました。

東京ガスLNG基地では昼食をとった後、映像を見ながら説明を聞き、実験を見た後、バスで基地内を案内して頂きました。帰りがけ、足を止めて質問をしている熱心な方もいらつしやいました。

最後は令和3年4月津波や高潮から流域を守る目的で建設した、落見川水門を回って交流センターまで戻りました。

予定では6kmでしたが、計画に変更があり10km強のコースになってしまい、参加者の皆さんから「長いなあ」「もう少し短いと思っていました」などつぶやきが聞こえてきました。それでも「歩くのには最高のお



天気でしたね」「個人では行けない東京ガスを見学出来ました」など感想を頂きながら、全員無事に歩きお土産に地元農家さんが作ったネギをお持ち帰り頂きました。次回はまだ新たなコースを計画します。是非ご参加いただき、日立の知らなかった魅力を発見して頂ければと思います。

那須烏山市内紅葉ハイク

坂下地区体育振興会

今年の紅葉ハイクは干支が辰年で来年は巳年のため龍と蛇の伝説のある栃木県那須烏山市「龍門の滝」を目指して市の中心地から歩くことにしました。11月24日(日)これ以上ない秋空の下、38人を乗せたバスは交流センターを出発しました。

まず、那須烏山市を知ってもらうため山あげ会館で国指定重要無形民俗文化財の山あげ祭りの映像や展示館などを見てももらいました。準備運動の後、滝に向かって出発しました。一般道を車に注意しながら歩き、途中泉溪寺に寄りました。ここは紅葉が有名なお寺で入口の銀杏ともみじの紅葉を見ることができました。

この後、急坂を登り一汗をかいてJR烏山線の踏切を渡ると滝にそぐ江川が見えてきました。高さ20m幅65mの滝は水量が若干少ない目でしたが滝の音を聞きながら昼食の弁当を食べたり、ふるさと民芸館のカフェで休憩をしたりしました。さらに20分ほど歩いてどうくつ酒蔵を見学しました。この洞窟は戦車の製造のために作られたそうですが今では日本酒の熟成、貯蔵のための施設となっています。総延長約600mの窟内には8万本ものお酒が保管されているとのことでした。鳥崎酒造で試飲や買い物をした後、帰途の車中ではゲームを楽しんで全員無事に交流センターに戻りました。



田中内地区との地区懇談会開催

10月26日(土) 田中内地区とコミ推地域福祉局との地区懇談会が交流センターで開催されました。

田中内地区での開催はコロナ感染防止対策の影響で、7年ぶりの開催となりました。当日は22名の参加がありました。

コミ推大貫会長、地域福祉局吉成局長の挨拶に続き、大内支部長より地区の活動紹介として広報誌の年2回発行、土木関係の要望の取りまとめ、120名が参加した夏祭りの開催、そして4年ごとの実施のふるりの集い等が報告されました。

一方、定年延長や再雇用に伴い役員のない手がない等の課題も提起されました。

次に、「地域で減災」のDVDを視聴し、日頃の災害への備えを再認識するとともに、お互いが助け合う大切さと必要性を感じました。

福祉局からの活動紹介では安心安全ネットワーク、緊急通報システムの説明があり、参加者からは「良い情報なのでより多くの人に広報してほしい」との要望があり、検討してまいります。今回の懇談会で地域で支え合うことの大切さを改めて感じました。

委員研修会に参加して



12月4日(火) 地域福祉局委員研修会に参加しました。テーマは昨今話題の「終活」です。前半は日立市役所高齢福祉課の森様から「在宅医療出前講座」の趣旨説明がありました。日立市は何と「高齢化率が34%」驚きです。

後半は同課の船山様による「心づもりとは？エンディングノートの活用」についてのお話でした。「もしも」に備え今後の人生を自分らしく充実して生きるために配布された日立市版エンディングノート。初めて手にした私は、新鮮な緊張感を覚え、実際に書く演習では思考停止状態でした。自分の人生を振り返り、未来の自分へのメッセージとして、少しずつ書き留め、家族にも伝えておかねばと強く思いました。質疑応答では遺言状の作り方や不動産相続手続き等参考になりました。貴重な研修会を企画していただき、関係者の皆様に感謝申し上げます。

そばを作って食べよう



12月12日(木)、ふれあいサロンで恒例のそば作りを楽しみました。もちろんそば粉は常陸秋そばの新しい粉です。今回も味楽クラブの宮田さんと橋本さんに講師をお願いして、参加11名で二八そばを作りました。まず、そばは最初の水加減が難しいのですが、講師の指導により、霧吹きを使ったりして何とか丸めることができました。

次は麺棒を使った延ばしの工程ですが、力を入れ加減がなかなか難しく形がうまく決まりませんでした。そして、次の難関がそば切りです。

道具を使って大きな包丁で切るのですが、幅が不揃いになってしまいました。でもこれも愛嬌ということでしょうか。最後に沸騰したお湯で数十秒茹でて素早く取り出し、冷水で冷めて冷たいおそばの出来上がりです。

皆でわいわいしながら作った茹でたてのそばは格別においしく、お店のそばにも引けをとれません。今日は本当に楽しかったです。また来年のそば作りも楽しみです。

善意のご寄付を頂きました

久慈川三育小学校様
同 幼稚園様

有難うございました



12月27日(金)に校長先生とお二人の児童が直接寄付を届けてくださいました。坂下地区コミュニティ推進会へのご寄付です。福祉活動を中心に種々の活動に活用させていただきます。